

子どもの権利 ニュースレター 第3号

令和5年11月発行



第3回ワークショップを開催しました！

石狩市が子どもの過ごしやすいまちになるように、子どもの権利条例の制定について検討しています。石狩市に住む子どもとおとなの意見を取り入れるため、子どもの権利について学び・考えるワークショップ（第3回目）を令和5年11月12日（日）に開催しました。

他のまちの子どもの権利条例を見て、学ぶ

第3回ワークショップでは、7つのまちの子どもの権利条例を見ながら、「大切な子どもの権利」について学びました。他のまちで大切にされている子どもの権利がどのように表現されているか、これまでのワークショップでは出てこなかった考え方、他のまちとこれまでに話し合った「大切なと思う子どもの権利」の共通点などを確認しました。

意見交換

私たちが大切にしたいこと・してほしいこと

今回は子どもチームとおとなチームに分かれて意見交換を行いました。

子どもチームでは、自分の体験したことと、その体験に関係する子どもの権利を考え、自分の体験から、自分自身が大切にしたいこと、周りの人に大切にしてほしいことを考えました。

おとなチームでは、子どもにとって大切な権利と、子どもの権利を守っていくために、子どもの権利に関わる色々な人の役割について話し合いました。

この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。



【子どもチーム】
子どもたちがトークテーマが書いてあるジャンボサイコロを振り、出たテーマに関する自分の体験談を話しました。その体験がどのような権利と関係しているか考え、自分自身が大切に思う権利について意見交換しました。▼



【おとなチーム】
おとなの立場から子どもにとって大切だと思う権利・石狩で大切にすべき子どもの権利と、子どもの権利を守るために、親、市民、市などの役割について話し合いました。▼



第3回子どもの権利を考えるワークショップ
令和5年11月12日（日）
10:00～12:00
参加人数：子ども6名、おとな8名

意見交換の結果

子どもの権利を守るためのみんなの役割

おとなチームでは、子どもの権利を守るためのおとなの役割について考えました。役割の他に、子どもの権利条例をつくる時に、どのような視点で役割を考えるかも話し合いました。その一部を紹介します。

子どもの権利条例に出てくる登場人物（主体）



それぞれの主体の役割（取り組んでほしいこと、各主体の役割の考え方）

行政の役割（取り組んでほしいこと）

行政から事業者や商工会議所に対し、子どもの権利の普及啓発や、子育てに関する理解を深める取組を推進してほしい。



保護者の役割（考え方）

子どもだけではなく、おとなも全員人権を持っている。親の人権も尊重することが大切。様々な立場の親が幸せな環境の中で子育てをする権利がある。行政、地域社会による、親が幸せであるための支援や取組があると良い。



事業者の役割（考え方）

様々な働き方がある中で、事業者が条例を見た時に、協力することはむずかしいとまらないような表現の条例にしたい。事業者が、これくらいなら自分たちも取り組めるといったイメージを持てるような内容にしたい。



子どもの役割（考え方）

自分の権利を守るためにしっかりと考え、実現するように努めることや、自分だけではなく他の人の権利を尊重することなどが、子どもの役割として条例に書かれるのは良い。



みんなの役割（考え方）

6つの主体が集まって情報交換や話し合いをする場を持つことは大切。大前提として、子どもの権利条例は「みんなのため」の条例であり、子どもだけのものではない。条例の前文やタイトルなどにその想いを盛り込めると良い。子どものために大人が集まって一生懸命話し合う姿を子どもが見ることは、教育的に良い効果があるかもしれない。将来に受け継いでほしい。



意見交換の結果 私たちが大切にしたいこと、してほしいこと

子どもチームも、おとなチームも、意見交換では、大切にしたい子どもの権利と、大切にしてほしい子どもの権利について話し合いました。その一部を紹介します。

子どもチーム 子どもが考える自分自身が大切にしたい権利、周りの人に大切にしてほしい権利は何でしょう？子どもたちの体験談や、大切に思う子どもの権利をまとめました。

子どもたちの体験談 テマ：楽しかった話、うれしかった話、感動した話、一生懸命やりきった話、びっくりした話、悲しかった話、腹がたった話

学校で注意されてもずっとうさぎがいた



ルールを身につける機会になった

妹が生まれてうれしかった！



愛情を理解できた

自分の意見を先生に論破された・・・



子どもという理由で不当に扱われた

くもんで難しい宿題をやりきった！



目標に向かって行動できた

宿泊学習のレクの内容をクラスのみんで決めた！



成長につながる体験ができた

学習発表会で長いセリフを全部覚えて発表できた！



経験が自信につながった

子ども自身が大切にしたい・してほしいこと


- 自分の思いを自由に表現すること
- 自由に過ごす時間を持つこと
- 自分の意見が大切にされること
- 活動の機会があること
- 遊ぶこと、豊かに暮らすこと
- 自分の成長につながる経験ができること

大切なことが守られるには...


■その前提となってくる大切なこと

- 安心して休める場所があること
- 健康でいられること
- 平和で安全な環境で生活できること
- 安心して相談できる場所があること


健康でいることで、色々な活動ができる。



安心して場所や頼れる人がいることで、自由に意見を言ったり、目標に向かってチャレンジできる。



安心して相談できるような居場所は、子どももおとなも共通して大切に思っている！




■こうなったらいいな、と思うこと

- 個性が認められ、大切にされること
- 子どもだからといって不当に扱われないために、子どもの権利について知ること

違いが尊重されることにつながり、いじめなどもなくなっていく。


個性が認められると、差別や偏見、暴力、放置などのひどい目に合わない。

自分たちも大切にしたい。



子どもの権利について知ると、いじめが起こったり、大人の意見を押し付けたりすることはなくなるかもしれない。

みんなが子どもの権利を知ることができるよう、学校でも子どもの権利について学んだり話し合う機会があると良い。



おとなチーム おとなの立場から考える、子どもたちにとって大切な権利、子どもに大切にしてほしい権利、石狩で大切にすべき権利とは何でしょう？それぞれについてまとめました。

子どもにやさしい居場所があり、選べること

- 児童館以外にも、学校帰りにちょっと立ち寄りそうな雰囲気の良い居場所があると良い。
- 大人たちが想像してなかった TikTok や YouTube などのオンライン上の居場所も、今後は考えられる。
- 対面でも、オンラインでも、安心できる居場所を選べると子どもが居心地良く過ごせるようになる。

居場所が選べる


←オンライン

対面→

子どもが安心して思いを伝えられる場所があること

- 普段から子どもの様子が見える、対話ができるような場が常にあると良い。
- 子どもはどうしても「良い意見」や「正しい意見」を言わないといけなくて、自分の思いを話せる場は必要。


〇〇さんに話してみよう！



親が幸せであること

- 保護者が子どものいちばんの責任者ではあるが、共働きなど家庭の状況も様々なため、親に全ての責任を持たせるのは負担が大きい。
- 親が幸せじゃないと、子どもも幸せじゃない。
- 保護者だけではなく、地域全体で子育てする考え方が大切。
- 地域の中で日頃から子どもと対話できる環境ができると、親ともつながりができ、親の負担を少し軽くしてあげられるかもしれない。


みんな幸せ！



子どもだけでなく、みんなが権利を理解すること

- 子どもの権利条例は、子どもだけがわかる言葉や、おとなだけがわかる言葉で書かれていても理解されない。
- まち全体で子どもの権利を守っていくために、みんなが分かる言葉で条例に表現されることが大切。

みんなで理解し、みんなで支える！



子どもの権利条例をアップデートしていくこと

- 子どもの権利条例全体を数年ごとに見直す機会があると良い。
- 条例ができた後も、足りないことについては、数年ごとに子どもやおとなの話合いの場を持ったり、その時代に合わせて検討することが重要。

